

連結決算補足説明資料

2025年3月期

(2024年4月1日～2025年3月31日)

2025年5月13日

(証券コード：9640)

株式会社セゾンテクノロジー

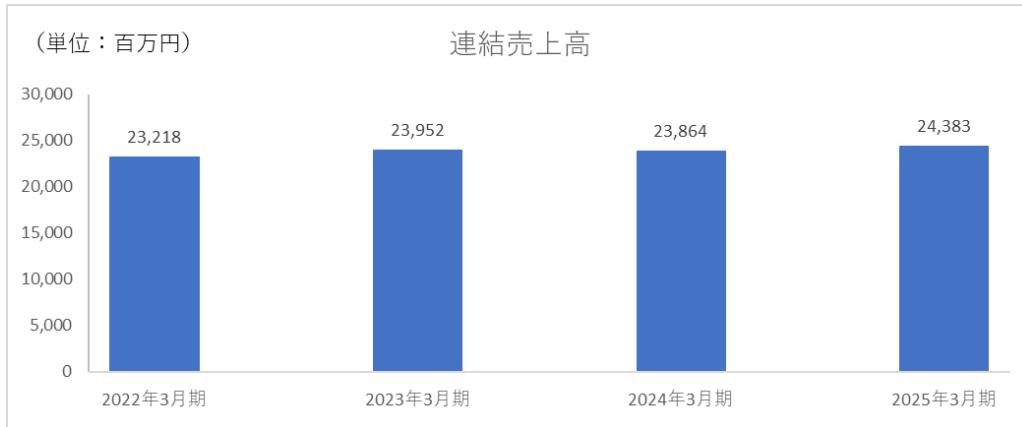
目次

1. 連結売上高・連結営業利益の推移
2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減
3. 事業セグメント別の損益状況
 - ① HULFT 事業
 - ② データプラットフォーム事業
 - ③ 流通 IT サービス事業
 - ④ フィナンシャル IT サービス事業
4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率
5. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益の推移

■連結売上高



<当連結会計年度>

連結売上高は、フィナンシャルITサービス事業が縮小した一方、流通ITサービス事業におけるシステム開発案件の検収に伴う一時的な売上増加及びデータ連携ビジネス（HULFT事業・データプラットフォーム事業）の拡大があったこと等により増加（前年同期比519百万円増）

<2024年3月期（通期）>

- データ連携ビジネス（HULFT事業及びデータプラットフォーム事業）が増収となったものの、特定顧客向けシステム開発・運用サービス（流通ITサービス事業及びフィナンシャルITサービス事業）が減収となったこと等により売上高減少（前年同期比88百万円減）

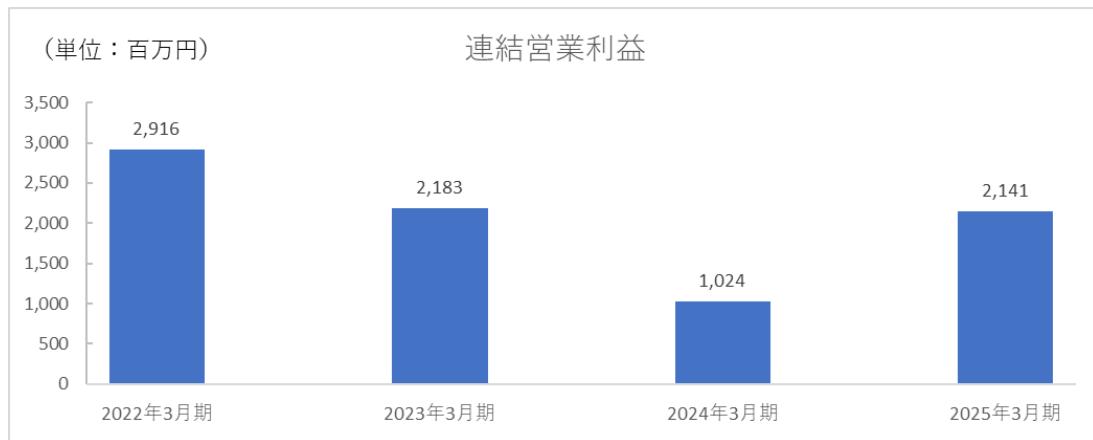
<2023年3月期（通期）>

- HULFT事業及びデータプラットフォーム事業が拡大したこと等により売上が増加（前年同期比733百万円増）

<2022年3月期（通期）>

- 事業モデルの転換に伴う既存事業の一部縮小はあった一方、成長の柱に位置付けるリンクエージ事業及びHULFT事業の売上が増加（前年同期比719百万円増）

■連結営業利益



<当連結会計年度>

連結営業利益は、連結会計年度に受注損失引当金を計上している一方、当連結会計年度においては受注損失等の臨時の要因に伴う影響は少ないと想定され、営業利益増加（前年同期比 1,117 百万円増）

<2024年3月期（通期）>

- HULFT 事業が順調に増益となった一方で、流通 IT サービス事業において、受注損失引当金繰入額 1,805 百万円を売上原価に計上したこと等により営業利益減少（前年同期比 1,159 百万円減）

<2023年3月期（通期）>

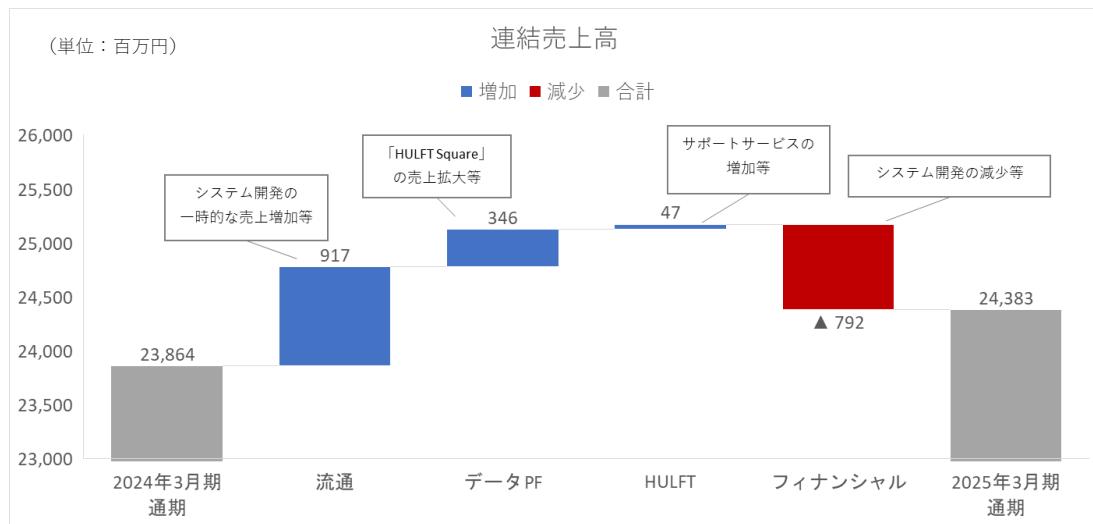
- 「HULFT Square」等製品サービスの開発及び人的資本への費用が増加（前年同期比 732 百万円減）

<2022年3月期（通期）>

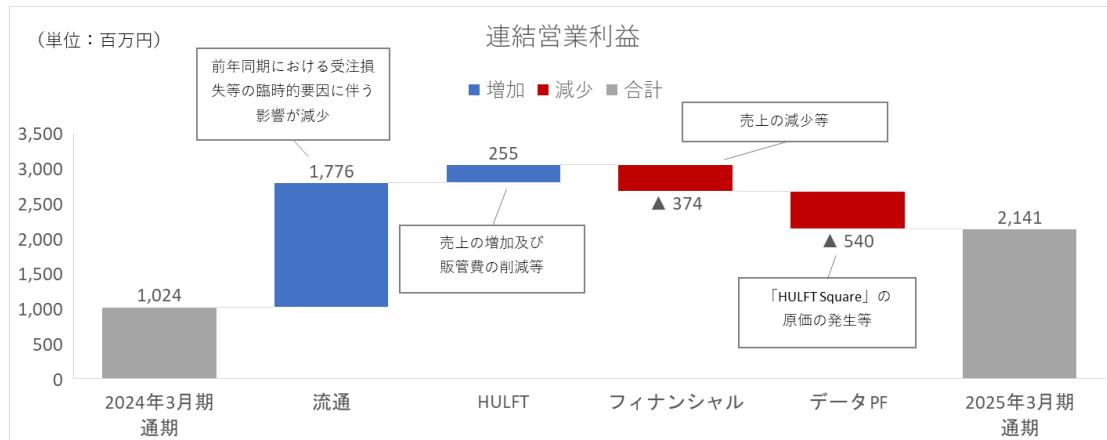
- 「HULFT Square」の研究開発費等が増加（前年同期比 72 百万円減）

2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減

■連結売上高



■連結営業利益



※ セグメント名称は略称で表記しており、正式名称は以下のとおりです。

HULFT : HULFT 事業

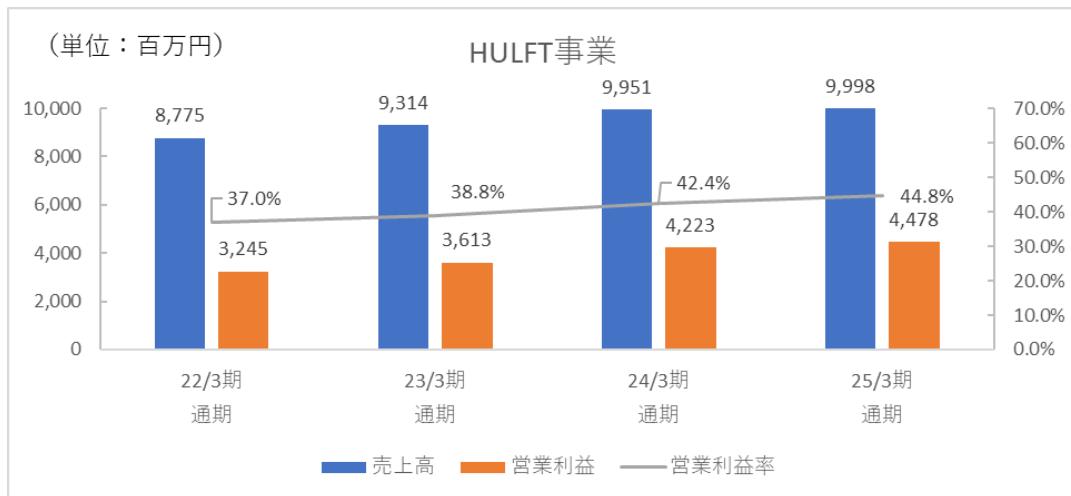
データ PF : データプラットフォーム事業

流通 : 流通 IT サービス事業

フィナンシャル : フィナンシャル IT サービス事業

3. 事業セグメント別の損益状況

① HULFT 事業



<当連結会計年度>

- 一部製品（「DataSpider Cloud」等）の販売終了に伴う影響を受けたものの、サポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 47 百万円増）
- 売上高の増加に加えて、販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 255 百万円増）

<2024 年 3 月期>

- ライセンス販売の増加及びサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 636 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 610 百万円増）

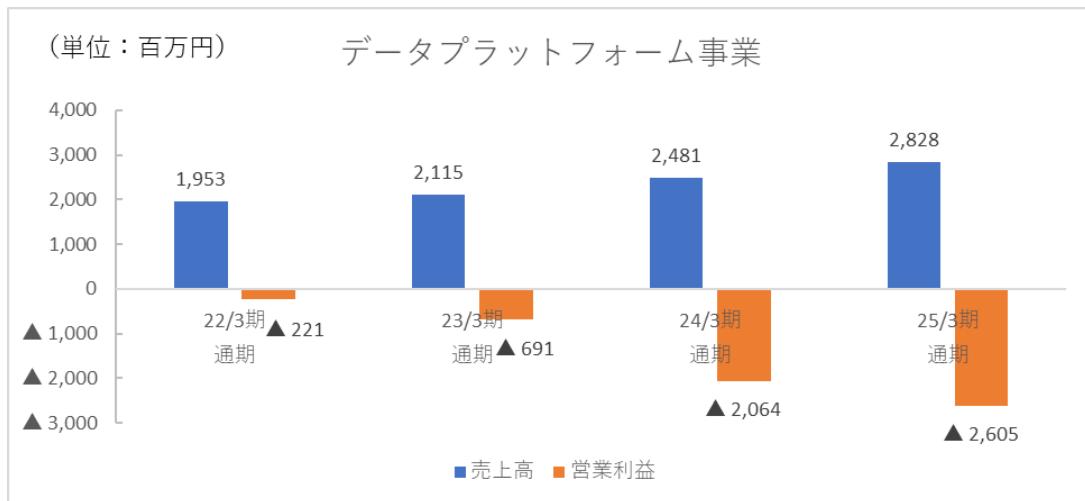
<2023 年 3 月期>

- 堅調な DX 関連システム需要を受けて、主力製品のライセンス販売、サブスクリプションサービス及びサポートサービス更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 538 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 368 百万円増）

<2022 年 3 月期>

- 「HULFT」「DataSpider」のサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 376 百万円増）
- お客様への提案モデルの具体化等、営業活動の改善による生産性向上に伴う販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 777 百万円増）

② データプラットフォーム事業



流通 IT サービス事業の一部としてサービス提供をしておりましたリンクエージビジネスは、今後の更なる事業拡大を目指し、2021 年 3 月期から「リンクエージ事業」として分離独立しています。また、2023 年 3 月期から「リンクエージ事業」を「データプラットフォーム事業」に名称変更しております。

<当連結会計年度（データプラットフォーム事業）>

- 「HULFT Square」の売上増加等により売上高増加（前年同期比 346 百万円増）
- サービスの立ち上げフェーズである「HULFT Square」の原価の計上及び要員拡充に伴うコスト増等により、2,605 百万円の営業損失（前年同期は 2,064 百万円の営業損失）

<2024 年 3 月期（データプラットフォーム事業）>

- DX 領域が拡大したこと等により売上高増加（前年同期比 366 百万円増）
- 前連結会計年度までは、「HULFT Square」に関するコストを新サービスの研究開発として全社費用に計上しておりましたが、「HULFT Square」を 2023 年 2 月にリリースしたことに伴い、当連結会計年度よりデータプラットフォーム事業の原価に計上したこと等により、2,064 百万円の営業損失（前年同期は 691 百万円の営業損失）

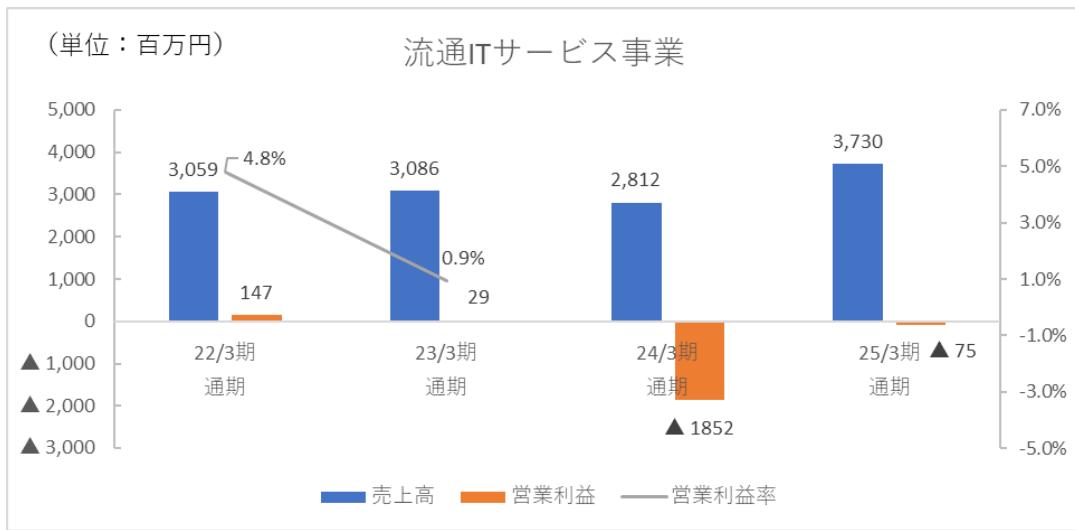
<2023 年 3 月期（データプラットフォーム事業）>

- データ連携基盤構築サービスが拡大したこと等により売上高増加（前年同期比 162 百万円増）
- 今後の DX 案件需要増に対応する体制強化に伴う原価の増加等により 691 百万円の営業損失（前年同期は 221 百万円の営業損失）

<2022 年 3 月期（リンクエージ事業）>

- モダンマネジメントサービス及びデータ連携基盤構築サービスの取引規模拡大、財務経理部門のデジタル化を支援するモダンファイナンスサービスで新規お客様獲得が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 581 百万円増）
- 上記サービスの拡大に伴う 1 人当たり売上高及び 1 人当たり売上総利益の改善による収益性向上に伴い、営業損失は 221 百万円（前年同期は 525 百万円の営業損失）まで改善

③ 流通 IT サービス事業



<当連結会計年度>

- システム開発案件の一時的な売上増加等により、売上高増加（前年同期比 917 百万円増）
- 前連結会計年度に受注損失引当金を計上しましたが、当連結会計年度においては受注損失等の臨時的要因に伴う影響は少ない一方、収益性の低下等により、75 百万円の営業損失（（前年同期は 1,852 百万円の営業損失）

<2024 年 3 月期>

- 既存領域における情報処理サービスの減少等により、売上高減少（前年同期比 273 百万円減）
- 開発を進めていた一部プロジェクトに高負荷が発生したことにより、この立て直しに必要な今後の開発コストとして、受注損失引当金繰入額 1,805 百万円を売上原価に計上したこと等により 1,852 百万円の営業損失（前年同期は 29 百万円の営業利益）

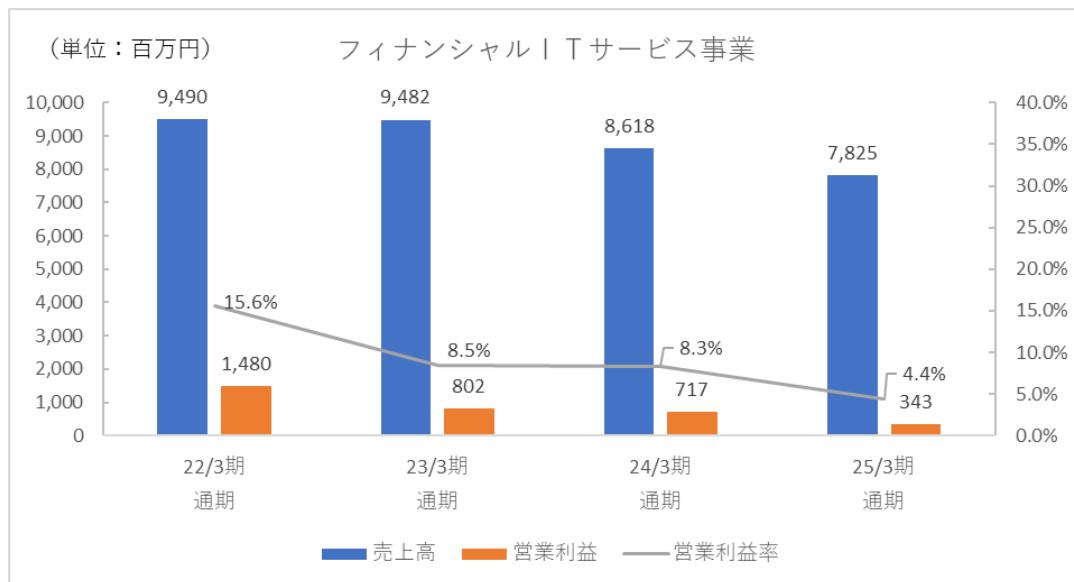
<2023 年 3 月期>

- 当社の強みが活ける DX 領域の規模拡大等により売上高増加（前年同期比 26 百万円増）
- 既存領域に関わる情報処理サービスの減少等により営業利益減少（前年同期比 117 百万円減）

<2022 年 3 月期>

- 当社の強みが活ける DX 領域への選択と集中を図ったこと等により売上高減少（前年同期比 153 百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比 18 百万円減）

④ フィナンシャル IT サービス事業



<当連結会計年度>

- システム開発案件の減少等により、売上高減少（前年同期比 792 百万円減）
- 売上高の減少等により、営業利益減少（前年同期比 374 百万円減）

<2024 年 3 月期>

- 既存領域における情報処理サービスの減少等により売上高減少（前年同期比 863 百万円減）
- 売上高の減少等により営業利益減少（前年同期比 84 百万円減）

<2023 年 3 月期>

- 情報処理サービスが底堅く推移したものの売上高減少（前年同期比 7 百万円減）
- 前連結会計年度に利益率の高い案件があったことから対前年では営業利益減少（前年同期比 677 百万円減）

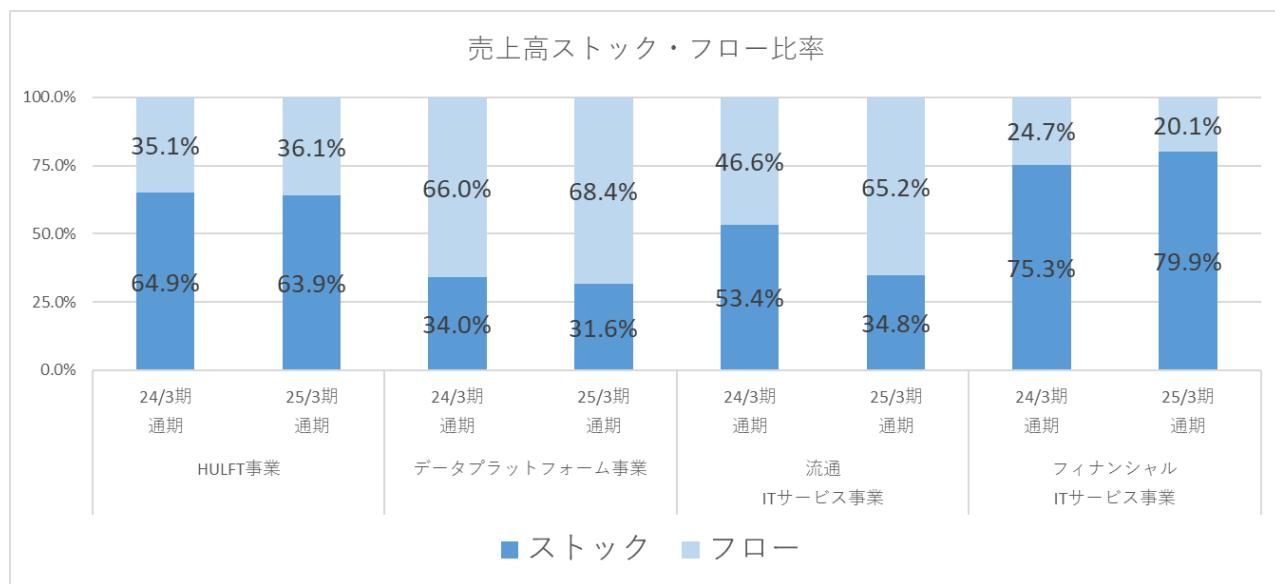
<2022 年 3 月期>

- パブリッククラウド上の環境構築等、新規サービス提供の進展及び一部利益率の高い案件の前倒し精算があったものの、既存領域に係る売上の減少等により売上高減少（前年同期比 63 百万円減）
- 減価償却の減少に伴い売上総利益が向上したこと等により、営業利益増加（前年同期比 429 百万円増）

4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率

当社グループは、金融・流通小売業をはじめとする多種多様な業種向けシステム開発・運用等及びデータ連携サービスを提供しております。前連結会計年度にリリースした iPaaS（クラウド型データ連携プラットフォーム）である「HULFT Square」を基盤として、サービス提供を中心としたストック型ビジネスの拡大を目指しております。

以下は、セグメント別売上高ストック・フロー比率を当連結会計年度と前年同期で比較したデータです。



※ストックは継続取引（当社製品・サービスに関するサポートサービス、サブスクリプション型サービス、システム保守運用等）、フローはスポット取引（ライセンス販売、システム開発等）

5. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2024年4月1日～2025年3月31日）

商号変更を記念した特設ページを公開 ～より良い未来の実装に向けた社員の声を紹介～

- 商号変更を記念する特設ページを公開しました。本ページでは、ミッション「世界中のデータをつなぎ、誰もがデータを活用できる社会を作る」の実現を通じてより良い未来の実装を目指す当社の姿を、有馬三郎執行役員 CTO や若手社員からのメッセージなども取りまとめて紹介しています。

<https://www.saison-technology.com/lp/mov/>

より良い未来の実装に向け、日経ウーマンエンパワーメントプロジェクトに新規加盟

- ジェンダー平等経営を目指す企業を対象に日本経済新聞社と日経 BP が主宰する「日経ウーマンエンパワーメントプロジェクト」に新たに加盟いたしました。本プロジェクトへの加盟を機に、社内外でジェンダーギャップ解消を加速させていきたいと考えています。

「ニコニコ超会議 2024」の「超絵師展～IF の楽曲世界展～」に協賛。未来を描く IT エンジニアをテーマにした描き下ろし作品の展示やプレゼント企画も実施 ※本イベントは終了しております。

- 2024年4月27日(土)～28日(日)に幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催されました「ニコニコ超会議 2024」の「超絵師展～IF の楽曲世界展～」に協賛いたしました。当社のオリジナル企画として「今までになかったものを創り出す、IT エンジニアは未来を描くアーティストだ。」をテーマに、3名の人気イラストレーターの方々に作品を描き下ろしていただきました。このテーマには、IT エンジニア、そしてイラストや楽曲などを創り出すアーティストの方々に対するリスペクトが込められています。

スタンダード市場上場維持基準への適合に関するお知らせ

- 当社は、東京証券取引所より「上場維持基準（分布基準）への適合状況について」を受領し、2024年3月31日時点において、スタンダード市場の上場維持基準に適合したことを確認しました。

AWS アーキテクチャで構築されたデータ・AI 活用基盤と他システムとの連携をさらに容易にする「HULFT 10 for Container Services」アップデート版を提供

- マネージドファイルトランスファー (MFT) 「HULFT」の最新ラインナップであり、パブリッククラウドのコンテナオーケストレーションサービスに対応した「HULFT10 for Container Services」のアップデート版 (Ver.10.1.0) を提供開始しました。

「HULFT Square」をアップデート (No.2024.1) SFTP サービスやトリガー機能など追加

- アプリケーション機能を強化し、お客様が「HULFT Square」本体のアップデートを待たず
にさまざまな拡張機能を必要なタイミングで追加して、システムへのニーズに迅速に対応可
能にしました。また、昨年の北米・欧州地域での販売に加え、ASEAN 地域でも販売を本格
的に開始しました。

企業のデータ戦略を強化するためのオープンデータ活用サンプルを公開

- 企業のデータ戦略強化を支援するために、オープンデータを活用した具体的なサンプルプロ
グラムの提供を開始しました。自治体、民間企業、大学での実際の活用事例とともに、オー
プンデータをビジネスに効果的に取り入れるための方法の解説とサンプルを提供します。

サステナビリティレポート 2024 発行のお知らせ

- サステナビリティレポートを発行いたしました。

ビジネスレポート 2024（通期）発行のお知らせ

- ビジネスレポートを発行いたしました。

DNX Ventures 第 4 号米国ファンドへの出資を決定～AI・SaaS 等スタートアップ協業による技 術力強化と人材育成～

- 北米・日本を中心に BtoB スタートアップへの投資を行っているベンチャーキャピタルであ
る DNX Ventures が運営する第 4 号米国ファンドへリミテッドパートナーとして出資を行
いました。本出資を通じて、北米・欧州における AI・SaaS 等スタートアップとの協業を行
い、先端テクノロジーを積極的に自社製品サービスへ取り込むとともに、データ連携分野の
知見を提供して彼らの成功を支援します。また、スタートアップと触れ、協業を推進するこ
とによって得られる経験を、次世代人材の成長にもつなげてまいります。

AWS の表彰プログラム 4 部門に当社エンジニア 5 名が選出 —世界的プログラムである AWS Ambassadors にも初選出—

- アマゾン ウェブ サービス (AWS) の専門知識や活動実績をもとに選出した、4 プログラム
の受賞者を発表しました。当社からは、エンジニア 5 名が 4 プログラムすべてに選出されて
います。特に、「AWS Ambassadors」は、AWS が技術スキルとクラウドの専門知識を有す
ると認定した 300 名ほどが全世界から選ばれるプログラムで、当社としても初の受賞となり
ます。

HULFT と DataSpider の両サポート窓口で HDI 格付けベンチマーク 「クオリティ格付け(センター評価：メール)」 最高ランク三つ星をダブル受賞

- HULFT テクニカルサポートセンターの HULFT チームと DataSpider チームの両部門は、世界最大のサポートサービス業界のメンバーシップ団体 HDI の日本拠点、HDI-Japan が主催する 2024 年度の HDI 格付けベンチマーク* 「クオリティ格付け（センター評価：メール）」において、最高ランクの三つ星をダブル受賞しました。HULFT チームは 3 年連続、DataSpider チームは初めての受賞です。

脱 Cookie 対策 BtoB マーケティングにおいてセグメント分類に必要なデータを手軽に付加し AI 活用を促進するアプリケーションテンプレートを提供開始

- BtoB 企業におけるマーケティングのターゲット選定をデータ連携と AI で支援する「HULFT Square」アプリケーションの提供を開始しました。本アプリケーションの利用により専門的な知識がなくてもデータの収集をノーコードで実施し、AI によるデータ分析など新たな視点での洞察を得ることが可能になります。

FTP 比 8 倍(自社計測による参考値)の転送性能を実現した「HULFT」新バージョンの圧縮方式「Zstandard」先行体験版の提供開始

- マネージド ファイル トランシスファー (MFT) 「HULFT (ハルフト)」の新バージョン「HULFT10」で新たに追加される圧縮方式「Zstandard」の先行体験版を、無償にて提供開始しました。

社員の睡眠改善にスリープテックの試験導入を開始 ~睡眠課題が指摘された社員には専門医の受診を支援~

- 社員の心身の健康向上を支援する一環として、脳波計測デバイス「InSomnograf (インソムノグラフ)」と AI （人工知能）技術を活用した睡眠検査の提供を 7 月より試験導入しました。「InSomnograf」は、株式会社 S'UIMIN が提供するデバイスで、自宅など普段と同じ寝室環境で利用可能で、睡眠時の脳波が AI により解析され約 20 の睡眠指標が一晩ごとに算出されます。社員は 5 日間の検査結果をもとに専門家による最終報告書を受け取ることができます。結果が一定基準に満たなかった場合は、専門医療機関の受診料の一部を会社が負担し睡眠改善を支援します。この睡眠診断の取組みを 40 歳以上の管理職を対象に導入し、順次対象を拡大していくことを予定しています。

Microsoft MVP Azure カテゴリを当社エンジニアが 5 年連続受賞

- Microsoft 社の表彰プログラム Microsoft MVP (Most Valuable Professional) の Azure カテゴリにおいて、当社エンジニアの河原慎吾が Microsoft MVP アワードを受賞しました。河原の受賞は、2020 年から 5 年連続となります。今回の河原の受賞を機に、会社全体でもさらに技術力強化に向けた取り組みを加速させていきます。

新入社員の希望による配属実施 ~新入社員からの逆指名配属で新しい働き方を目指す~

- 営業本部に配属された 2024 年 4 月入社の新入社員が配属先の部門・課を自ら選び、希望を 100% 反映させる取り組みを実施しました。今回の取り組みは、基本研修を経て 1 か月のみで営業本部すべての部門を回り、各部門の業務を具体的に体験する内容です。受入れ側も短期間での準備の必要があり負担の高い取り組みではありましたが、新入社員、受入側の双方にとって充実した期間となりました。今回初めて実施した新入社員の希望による配属の成果を受け、今後は対象部門を拡大し全社的な取り組みとして継続いくことも検討しています。

「HULFT Technology Days 2024」10 月 10 日(木)より開催しました。

- 年次イベント「HULFT Technology Days (ハルフト テクノロジー デイズ) 2024」を、2024 年 10 月 10 日 (木) に会場にて、16 日 (水) および 17 日(木) にオンラインにて開催し、生成 AI やデータ活用に必要不可欠な考え方や先進的な取り組みの発表、およびそれらを支える最新テクノロジーとし HULFT Square をはじめとするデータ連携プロダクトのアップデート情報についてご紹介しました。

「第 19 回 日経 IR・個人投資家フェア 2024」に参加し、会社説明会を実施しました。

- 個人投資家様向けイベント「第 19 回 日経 IR・個人投資家フェア 2024」（主催：日本経済新聞社）に参加し会社説明会を行い、当社代表取締役 社長執行役員 葉山 誠より、IT 業界の動向や当社の取組みについて紹介しました。

ファイル連携ミドルウェア『HULFT』21 年連続国内市場シェア 1 位を獲得 ~ 株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2024 年版」~

- ファイル連携ミドルウェアである『HULFT』が、株式会社富士キメラ総研から 2024 年 7 月に発行された「ソフトウェアビジネス新市場 2024 年版」のファイル転送ツール分野において、21 年連続で国内市場シェア 1 位を獲得したことを発表しました。なお、同レポートにおける「2023 年度データ連携ツール(EAI/ESB/ETL/iPaaS)」(iPaaS : 『HULFT Square』など) の SaaS/PaaS カテゴリーにおいても、国内市場シェア 3 位の 11.1%を獲得しています。

オフィス出社時のコミュニケーション促進にランチ代サポートの取組みを開始～社内 SNSとの連動でオンライン上のコミュニケーションの増幅も～

- オフィス出社時の社内コミュニケーション促進のため、ランチ代の一部を会社がサポートする取組みを8月より開始しました。今回開始したランチ代サポートは、当社のOur Valuesのひとつでもある「互いに尊重し会話する」ことの実践として、オフィス出社の際のコミュニケーションを促進することが目的です。

「Dreamforce 2024（9月17日～19日）」に出展しました。

- アメリカ、サンフランシスコで開催されたSalesforce社主催のカンファレンス「Dreamforce 2024」にスポンサーとして出展しました。「Unify Your Data Environment: Streamlined Integration with HULFT Square」をキー メッセージとして、日本発のiPaaS「HULFT Square」経由でSalesforceとさまざまなSaaSを連携することで、企業のデータ連携を加速し、DX推進が可能になることをご紹介しました。

キヤノンITS「EDI-Master Cloud」とセゾンテクノロジー「HULFT Square」の連携ソリューションを提供開始

- キヤノンITS社の企業間電子データ交換を実現するクラウドEDIサービス「EDI-Master Cloud」とセゾンテクノロジーの日本発iPaaSクラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square」の連携ソリューションを提供開始することを発表しました。キヤノンITSのEDIに関する豊富な実績/知見と、セゾンテクノロジーのデータ連携領域における技術と経験を融合させることで、EDIデータと企業内外のさまざまなシステムとのシームレスな連携および業務のオートメーション化を実現します。

営業利益1%寄付でサステナビリティ経営を加速

- サステナビリティ経営を加速させるべく、2023年度営業利益の約1%相当を当社ミッションおよびマテリアリティ（重要課題）に関連した活動を行う9団体に寄付しました。当社は、寄付先団体を当社重点課題に知見を持つ専門家として捉えており、社員向けトークイベントへの招聘や、施設訪問、研修参加等を通じて、さらなる課題理解と双方の信頼関係の醸成に努めています。より良い未来に向けて、セゾンテクノロジーはこれからもさまざまなステークホルダーの皆さまと多面的な取り組みを進めてまいります。寄付の詳細と当社のサステナビリティに関する取り組みは、[公式サイト](#)もご覧ください。

セゾンテクノロジーと三菱HCキャピタルエナジーが バーチャル PPA 契約を締結し取引開始 データセンターの脱炭素化を推進し再エネ導入率 100%へ

- 当社と三菱HCキャピタルエナジー株式会社は、再生可能エネルギー（以下、再エネ）電気に係る非化石証書譲渡契約（以下「バーチャル PPA」）を締結し、10月1日より当社のデータセンターおよび西日本事業所で使用する電力に活用しています。社内で消費している電力量の約90%を占めるデータセンター、そして西日本事業所においてもバーチャル PPA を開始することで再エネ利用を拡大し、セゾンテクノロジーの脱炭素化を推進します。

AIを活用した決算説明動画（英語版）公開のお知らせ

- 当社が目指すテクノロジーを通じたより良い未来の実装への取り組みの一環として、AIを活用した社長葉山による、2025年3月期第2四半期（中間期）決算説明動画（英語版）を公開いたしました。

[FY2025 Q2 \(Interim\) Financial Results Presentation Video](#) (外部サーバーへ接続します。)

「HULFT8」のバージョンアップ版「HULFT10」リリースのお知らせ

- 2024年2月に提供開始したパブリッククラウドのコンテナサービス対応版に続き、12月にオンプレミスシステム対応版をリリースいたしました。従前のファイル転送ミドルウェア機能に加えて、クラウドからオンプレミスまで、あらゆるITシステムの境界線を越えてつなぐことをコンセプトに「利用範囲拡大」「運用性向上」「セキュリティ強化」に注力して機能を強化いたしました。今後も企業の情報システム内に混在するあらゆるデータを安全・安心、確実に転送するファイル連携の更なる進化と、新しい技術とのデータ融合等、データ連携・データ活用を通してお客様のビジネス変革を支援してまいります。

ビジネスレポート2025（上半期）発行のお知らせ

※外部サイトへリンクいたします。

40歳以上の全社員を対象にスリープテックを本格導入～ 睡眠時無呼吸症候群など睡眠課題に対して専門医の受診補助や予防を目指したデータ活用にも注力～

- 社員の心身の健康向上を支援する一環として実施していた睡眠検査について、対象者を40歳以上の全社員に拡大し11月より本格実施しました。睡眠時無呼吸症候群は生活習慣病を合併しやすく、放置すると心筋梗塞や脳卒中などの発症リスクが高まることが報告されています。セゾンテクノロジーはマテリアリティ（重要課題）のひとつに「人」を設定しており、社員の健康向上を支援することはその根幹と考えています。睡眠検査結果を勤怠データや運動習慣などのデータともつなぎ、睡眠課題との相関を探り、事前にリスクを把握し予防に役立てられるようデータ活用も進めていきたいと考えております。

「TOKIUM 経費精算」とセゾンテクノロジー「HULFT Square」の連携ソリューションを提供開始～企業の経費精算に関わるシステム間の連携業務を自動化し経理業務などを効率化～

- 株式会社TOKIUMの経費精算クラウド「TOKIUM 経費精算」と、セゾンテクノロジーの日本発iPaaSクラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square」の連携ソリューションの提供を開始しました。「TOKIUM 経費精算」から「HULFT Square」を経由して、既存のオンプレミスやクラウドで利用する会計システムや人事システムなどと連携することで、システム間でのデータ連携の自動化や業務プロセスの効率化を実現し、日常発生する経理担当者の手作業や重複チェックなどの業務を低減します。本連携ソリューションを機に両社の連携をさらに拡げ、お客様の業務効率化を支援してまいります。

Google Cloud Partner Top Engineer 2025 を受賞 若手エンジニアが2年連続で選出

- Google Cloudパートナー企業所属エンジニアの活動を表彰する「Google Cloud Partner Top Engineer 2025」に当社若手エンジニアが選出されました。同社員は、昨年に引き続き2年連続の選出となりました。今後もIT業界における重要技術への取組みを継続してまいります。

「HULFT Square」の内部統制を評価する 国際セキュリティ認証 SOC2 Type2 保証報告書を受領

- 「HULFT Square」において、内部統制の国際セキュリティ認証であるSOC2 Type2保証報告書を2024年10月31日に受領いたしました。2023年7月15日を基準日として受領したSOC2 Type1保証報告書に続いての受領となります。今回の受領は、外部監査人による第三者の立場から、「HULFT Square」のシステム上のセキュリティ要件が国際基準を継続して満たしているとの評価を受けることで、サービスをお客様が安全・安心にご利用いただくことを目的としております。

寄付 + α の 1day プロボノ開始 ~初回は AI を活用したアクセシブルな書籍製作相談会~

- 2020 年以来、前年度営業利益の 1%に相当する寄付を行い、2023 年からは、当社ミッションおよびマテリアリティ（重要課題）に関連した活動を行う非営利団体を寄付対象とし、寄付先を当社重点課題に知見を持つ専門家として捉え、継続的なコミュニケーションを通じて課題理解と信頼関係の醸成に努めてまいりました。その中で、多くの団体では IT 人材が十分とはいはず、金銭的支援と同等以上に、本業での取り組みや事業支援が課題解決に有効であるとの認識を重ね、このたび寄付先の声を踏まえた 1day プロボノプログラムを新たに開始いたします。本プログラムは、これまで培った一定の相互理解の下、当社ビジネスにつなげることを目的とせず、1 日完結を原則として双方の負担やリスクを軽減しつつ、寄付先のテクノロジーを使った事業発展と、当社の有識者知見を踏まえた製品・サービスの開発の加速をともに図るもので、初回で協業した日本点字図書館では、ボランティアの減少や高齢化に伴う視覚障害者向け書籍製作への影響への対策として AI 等テクノロジーの活用を検討されており、AI や新規システム開発、アクセシビリティ、法務等に携わる当社社員が、構想の実現可能性や留意点等について客観的な助言を行いました。本プログラムで得られる知見や現場の声をもとに、これからもさらに社会課題への解像度を上げ、事業における貢献を強化してまいります。

寄付の詳細と当社のサステナビリティに関する取り組みは、[公式サイト](#) もご覧ください。

「第 13 回 NIPPON IT チャリティ駅伝」に賛同しスポンサーとして協賛しました

- 2024 年 11 月 10 日（日）に開催された「第 13 回 NIPPON IT チャリティ駅伝」（主催：NIPPON IT チャリティ駅伝 実行委員会）にスペシャルゼッケンスポンサーとして協賛しました。2010 年から開催されている本大会は、悩みを抱える未就労者の社会復帰を支援することを主な目的に企画されています。当社は、駅伝というスポーツを通じて参加者同士が協力しあい、タスキをつないで走ることが未来を担う若者の支援につながるというテーマに賛同し、協賛社として大会をサポートするとともに、社内からランナーを募り 9 チーム 45 名が大会に出場しました。

DataSpider Servista 4.5 リリース

- 2024 年 11 月 6 日（水）に、DataSpider Servista 4.5 をリリースいたしました。CLI Console の機能強化による運用自動化、ScriptRunner の機能強化、Studio for Web の機能拡充等をいたしました。

Findy Team+ Award 2024 を受賞 2年連続でソフトウェア開発生産性が高評価獲得

- ファインディ株式会社が主催する「Findy Team+ Award 2024」にて「Team Award Quick Success Division」を受賞しました。受賞したのは、クラウドネイティブなデータ基盤と他システムとの連携を支援する「HULFT10 for Container Services」開発チームで、開発生産性スコアを短期間で大幅に改善した点が評価されました。セゾンテクノロジーは、「Findy Team+」の利用開始以降、2年連続の受賞となります。

Red Hat Japan Partner Awards 2024 にて「Red Hat Japan ISV Partner of the Year」を受賞

- レッドハット株式会社の Red Hat Japan Partner Awards 2024 にて「Red Hat Japan ISV Partner of the Year」を受賞しました。Red Hat Japan Partner Awards 2024 は、レッドハット社が持つオープンソース・テクノロジーを活用し、継続的に革新的なソリューションの開発と実装に成功した日本のパートナー企業を表彰するものです。セゾンテクノロジーは、Red Hat OpenShift 上で稼働する ファイル連携ミドルウェア「HULFT10 for Container Platform」のリリースを 2025 年 3 月に予定しています。この製品は、メインフレームなどを対象としたレガシーモダナイゼーションや共通データ連携基盤の課題を解決するため、レッドハット社との Co-Creation ソリューションとして創出されました。今後はこの Co-Creation をもとに Sler と共に創り、さまざまな業界のお客様がデジタル・トランスフォーメーションを加速できるよう支援してまいります。

「Japan DX Week 秋 2024」の「社内業務 DX EXPO（10月23日～25日）」に出展しました

- 「Japan DX Week 秋 2024」の「社内業務 DX EXPO」に出展しました。セゾンテクノロジーは、データ・AI 活用を支援する「つなぐスペシャリスト」として、社内外のデータを連携し、AI 活用を含むさまざまな業務効率化を実践した事例を紹介しました。また、自社の新しいサービス iPaaS 「HULFT Square」の展示も行いました。

ウイングアーク 1 s t 「MotionBoard」「Dr.Sum」とセゾンテクノロジー「HULFT Square」の連携ソリューションを提供開始

- ウイングアーク 1 s t 社の BI ダッシュボード「MotionBoard Cloud」、データ分析基盤「Dr.Sum Cloud」と、セゾンテクノロジーの日本発 iPaaS クラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square」の連携ソリューションを 10 月 9 日（水）より提供開始することを発表しました。本連携を機に両社の協業をさらに深め、情報の持つ価値を最大限に高めながらお客様のデータ利活用やビジネス変革を支援してまいります。

「HULFT」が、AWS ファンデーションナルテクニカルレビュー（FTR）を通過し AWS 認定ソフトウェアとなりました

- ファイル連携ミドルウェア「HULFT」が、AWS のファンデーションナルテクニカルレビュー（FTR）を通過し、「AWS 認定ソフトウェア」として認定されました。お客様システムのクラウド移行が進み、AWS で HULFT が利用される例が年々増えています。そのような背景から、2024 年 2 月より、コンテナベースの「HULFT10 for Container Services」を AWS Marketplace 上で販売しています。FTR の通過により、AWS の利用においても高い安全性と信頼を提供するソフトウェアであることが認定されました。今後もお客様に安心してご利用いただける高品質な製品を開発してまいります。

日清食品ホールディングスがデータ連携/分析基盤の構築にセゾンテクノロジーの「HULFT Square」を活用

- 日清食品ホールディングス株式会社のデータ連携/分析基盤の構築に、「HULFT Square」が活用され、生成 AI による全社統合データベースの分析を導入支援いたしました。データのサイロ化を解消し、データ連携に係る時間を約 60% 削減しました。さらに、生成 AI との連携により、データ分析の自動化が進み、組織間のコミュニケーションやコラボレーションを促進しています。今後は、生成 AI を活用したデータの可視化やインサイト発掘の支援を強化し、データ価値を最大限に引き出す分析基盤を目指します。

「AWS 200 APN Certification Distinction」に認定

- AWS 認定資格の取得数が 200 を超える企業として、アマゾン ウェブ サービス（以下 AWS）より「AWS 200 APN Certification Distinction」に認定されました。この認定は、AWS パートナーネットワーク（APN）パートナーとしての高い技術力と信頼性を示すものです。

NEC フィールディング、顧客サービス管理システムのクラウド接続にセゾンテクノロジーの「DataSpider Servista」を導入

- NEC フィールディング株式会社の顧客サービス管理システムのクラウド接続に、データ連携ソフトウェア「DataSpider Servista」が導入されました。これにより、Salesforce とオンプレミスデータベース間で 100 以上のデータ連携が可能となり、24 時間 365 日の安定稼働を支えています。この新システムへの移行は、業務の効率化とビジネス拡大を促進するものであり、特に GUI での開発により障害時の迅速な対応が可能となりました。今後、生成 AI を活用したデータ分析の基盤構築も計画され、「DataSpider Servista」のさらなる利用が期待されています。

「JAWS DAYS 2025」に協賛しました

- 2025年3月1日に開催された「JAWS DAYS 2025」にPlatinumスポンサーとして協賛し、ブースを出展しました。JAWS DAYSはAWSユーザーグループ最大規模のイベントで、AWSを活用するエンジニアやクラウド技術に興味を持つ人々が一堂に会し、新技術からビジネス、ライフスタイルなどAWSに関わる幅広いテーマでのセッションの場が提供されます。JAWS DAYS 2025の企業ブースでは「エンジニア同士の交流」を大切に、AWSとAIの実践的な活用法など技術や学びを共有する場を提供しました。

「J-WAVE TOKYO GUITAR JAMBOREE 2025」に協賛しました

- 2025年3月1日と2日に東京・両国国技館で開催された「J-WAVE TOKYO GUITAR JAMBOREE 2025 supported by 奥村組」に協賛しました。豪華アーティストによるギターの弾き語りを土俵に見立てたステージで展開し、多くの音楽ファンに愛されています。当日は、会場入口に設置される提灯を活用した広告に社名、ロゴを掲示しイベントを彩りました。

HULFTユーザー向け最新バージョン移行時の環境設定ファイル解析サービスを無償提供

- ファイル連携ミドルウェアの最新バージョン「HULFT10（ハルフト・テン）」へ移行を検討するHULFTユーザー向けに、利用を推奨する新機能や旧バージョンとの仕様変更箇所などを環境設定ファイルから無償で解析する「HULFT10バージョンアップ解析サービス」を2月27日より提供開始しました。本サービスは、旧バージョン「HULFT8」の設定ファイルやログをクラウドストレージにアップロードするだけで、「HULFT10」へのバージョンアップに伴う非互換部分をゼンテクノロジーが専用プログラムにより解析します。必要な設定の変更と推奨される新機能をレポート形式で提供し、事前調査やテストにかかる工数を削減することができます。

オフィスに高気圧酸素ルームを導入

- 社員の心身健康とパフォーマンス向上のため、本社オフィスに高気圧酸素ルームを導入し、2025年3月5日より運用を開始しました。高気圧酸素ルームは、気象病の改善や疲労回復、集中力向上を促進するとされ、社員の体調や生活リズムを整えることを目的とした施策です。社員からは視界の改善やリラックス効果に関する声が多く寄せられています。この導入はスリープテックの睡眠改善と相乗効果を見込むもので、今後も社員の健康支援を積極的に推進していく予定です。

Red Hat OpenShift 対応「HULFT10」を提供開始

- Red Hat OpenShift 対応のファイル連携ミドルウェア「HULFT10 for Container Platform」を3月5日に提供開始いたしました。Red Hat OpenShift Certificationによる認定*を受けたOperatorとして、自社構築のインフラやRed Hat国内パートナーが提供するオンプレミス環境、および海外主要クラウドが提供するフルマネージドサービスの、Kubernetesコンテナプラットフォーム環境下で「HULFT10」を実行することができます。
* Red Hat OpenShift Certificationにより Kubernetes クラスター管理手法である「Operator」としての品質と信頼性が認定されています。

ハウス オブ ローゼが「HULFT Square」を導入し顧客情報の一元管理を実現

- [【HULFT Square】導入事例公開「株式会社ハウス オブ ローゼ様」](#)

セゾンテクノロジーのエンジニア3名が「AWS Community Builders」に選出されました

- DI本部所属の大泉 健木がAmazon ウェブ サービス (AWS) が提供する「AWS Community Builders Program」にて「AWS Community Builder」として新たに選出されました。これまでに選ばれた2名とともに、当社には3名のAWS Community Builderが在籍することになります。

AWS コミュニティビルダー公式ページ：

<https://aws.amazon.com/jp/developer/community/community-builders/>

<お問い合わせ先>

株式会社セゾンテクノロジー

経営管理本部 経営企画部 経営企画課

Tel : 03-6370-2930

URL : <https://www.saison-technology.com/>